

## 研修1日目タイムスケジュール

時間	カリキュラム	内容
9:30	受付開始	
9:55	開講挨拶	都道府県担当者より挨拶
	オリエンテーション	諸注意、事務連絡、講師紹介
10:00		はじめに
	1章 高齢者が地域で暮らし続けるための介護の理解	<p>1) 地域での高齢者の暮らし <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp1</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 高齢者人口の動向</li> <li>(2) 高齢化の推移</li> <li>(3) 高齢者の世帯と暮らし</li> <li>(4) 高齢者の身体的特徴と病気</li> </ul> <p>2) 認知症をもたらす病気 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp9</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知症とは</li> <li>(2) 認知症高齢者の現状</li> <li>(3) 認知症の原因と治療</li> </ul> <p>3) 認知症の人の特徴とたどる経過 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp13</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知症の人のたどる経過</li> <li>(2) 認知症の症状</li> <li>(2) 認知症の人の状態や気持ち</li> </ul> <p>4) これからの中高齢者及び認知症の人の介護</p>
12:00	昼食休憩	
13:00	2章 認知症対応型 共同生活介護の 基本的理解	<p>1) 歴史 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp21</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知症の人の気持ちに寄り添う</li> <li>(2) 本人本位の認知症ケアとは</li> <li>(3) グループホームの誕生</li> </ul> <p>2) 特徴と役割 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp26</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 寄り添う、つきあう、奪わない、断ち切らない</li> <li>(2) 本人にとっての居心地のよい暮らし</li> </ul> <p>3) 制度の理解 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp31</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基準省令</li> <li>(2) 地域密着型サービスとしてのグループホーム</li> <li>(3) 在宅介護の支援機能(ショートステイとデイサービス)</li> <li>(4) 運営推進会議</li> </ul> <p>4) 現状と課題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp40</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 重度化する利用者への対応</li> <li>(2) 身体拘束・鍵をかけないケア</li> <li>(3) 防火安全対策</li> <li>(4) 災害への備え</li> </ul>
17:00	質疑応答	一日間の振り返り
17:15	退出	

## 研修2日目タイムスケジュール

時間	カリキュラム	内容
9:30	受付開始	
10:00	【3章】 サービス評価の 必要性と目的	1) サービス評価の目的 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp54</span> (1) サービス評価の目的とねらい
10:15		2) サービス評価の位置づけ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp55</span>
10:30		3) サービスの質の確認 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp57</span>  サービスの質を考える演習 DVD30分 ・個人ワーク8分、グループワーク35分、全体共有15分
12:00	昼食休憩	
13:00	【4章】 サービス評価の 流れと手続き	1) サービス評価の進め方 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp62</span> (1) サービス評価のしくみと流れ (2) サービス評価の進め方 (3) 家族アンケート (4) サービス評価の活用(効果)
13:30		2) 評価項目の内容と理解 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp70</span> (1) 評価項目
15:00		3) 評価調査員の具体的な手法 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストp81</span> (1) 外部評価はプロセス(過程・方法)重視 (2) ヒアリングで事業所の取り組み、特徴を引き出す (3) 事業所が考える時間を大切にする (4) エビデンスの徹底確認 (5) 情報管理の重要性 (6) 「次のステップに向けて期待したい内容」の考え方
16:00		(7) 訪問調査実習の目的 ・実習目標個人ワーク10分、グループワーク20分 (8) 実習の流れ 説明 (9) 報告書の作成・提出 説明
17:00	質疑応答	本日一日を通しての振り返りなど
17:15	退出	

### 研修3日目タイムスケジュール

時間	カリキュラム	内容
9:30	受付開始	
10:00	模擬実習	<p><b>1)調査方法について</b></p> <p>① グループに分かれて、質問内容について話し合ってもらい、質問者を決める。(事前配布資料:グループホーム自己評価、パンフレット、契約書ひな形、介護計画書ひな形、一週間分のメニュー、職員勤務表、業務日誌ひな形等)</p> <p>② オンラインによる訪問調査を実施する。ホーム内をカメラを持って案内してもらうか、または、写真などでホームの様子が分かるようにする。</p> <p>③ ①で話し合った内容及びホーム内を確認したうえで、確認したい事項をヒアリングする。</p> <p><u>昼食休憩</u></p> <p>④ ヒアリングの続き。</p> <p>⑤ ヒアリングを終えた後、グループに分かれて、ホームの良い点と次のステップに向けて期待したい内容について話し合う。</p> <p>⑥ 各グループ発表。</p> <p>⑦自宅で書く報告書についての説明。質疑応答。</p>
16:30	報告書記入演習	
17:30	退出	
		各自、自宅で担当部分の報告書を作成してもらい、評価機関を通して研修事務局に提出する。

## 研修4日目タイムスケジュール

時間	カリキュラム	内容
9:30	受付開始	
10:00 12:00	【6章】 演習を踏まえた 調査方法、 項目の理解	<p><b>1)調査方法について</b> テキストp98</p> <p>(1)演習でよかったこと・手ごたえを確認しよう ・個人ワーク15分、グループワーク30分、全体共有15分</p> <p>(2)実習での疑問点・問題点を整理しよう ・個人ワーク15分、グループワーク30分、全体共有15分</p>
13:00 15:30		<p><b>2)評価項目の理解について</b> テキストp103</p> <p>(1)評価項目の振り返り</p> <p>(2)評価項目の理解を深めよう 最期まで自分らしく生きる DVD10分</p> <p><b>3)報告書記入方法について</b> テキストp104</p>
16:30	質疑応答	研修全日を通しての振り返りなど
17:00	研修のまとめ	研修のまとめレポート作成 説明
17:30	退出	